

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2006-70252(P2006-70252A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2005-218644(P2005-218644)

【国際特許分類】

C 08 L 23/20 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 L 23/00 (2006.01)

H 01 L 33/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/20

C 08 J 5/18 C E S

C 08 L 23/00

H 01 L 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月23日(2008.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

4-メチル-1-ペンテン含有量が80質量%以上の重合体(A)を含む樹脂組成物であって、該樹脂組成物の融点が170~240、半結晶化時間が70~220秒である、ポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物。

【請求項2】

4-メチル-1-ペンテンを95~100質量%含む重合体(A)を5~70質量%並びに、4-メチル-1-ペンテンおよび4-メチル-1-ペンテン以外の炭素原子数2~20のオレフィンを含む重合体(B)を30~95質量%含む、請求項1に記載のポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物。

【請求項3】

重合体(A)が4-メチル-1-ペンテンの単独重合体である、請求項2に記載のポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物。

【請求項4】

プロッキング係数が4~10g f/cm²である、請求項1~請求項3のいずれか1項に記載のポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物を成形して得られるフィルム。

【請求項5】

表面結晶化度が15~60%である、請求項1~請求項3のいずれか1項に記載のポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物を成形して得られるフィルム。

【請求項6】

請求項4または請求項5に記載のフィルムである、離型フィルム。

【請求項7】

請求項1~請求項3のいずれか1項に記載のポリ4-メチル-1-ペンテン樹脂組成物を成形して得られる電子部品封止体製造用型枠。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載のポリ 4 - メチル - 1 - ペンテン樹脂組成物を成形して得られる L E D モールド。